

中期計画（2015～2018年）

生徒の教育

（基本方針）

- ① 不撓不屈、旺盛な科学的探究心、均衡のとれた国際感覚という開校以来掲げてきた建学の精神を継承しつつ、時代の要請に即して解釈し直していく。
- ② 実学を基調としつつ、グローバル社会に対応できる人材の育成に努める。

アクティブ・ラーニングの手法により、物事の本質を客観的な科学の手続きにより実証的に解明し、理解を深めていくことを教育の中心に据えていく。

（アクションプラン）

1. 中高一貫卒業生のフォローアップ調査に基づく進学実績の向上対策
2. 新しい教育課程コースの実施と実施過程のモニタリング
3. 中学校募集定員の適正規模の検討
4. 授業力と進学実績の向上—教員FD、生徒ごとの細かな教育・進路・生活の指導
5. グローバル教育の展開—外国人招聘による国際交流の活発化
6. 質を重視した入試制度の点検—新大学入試制度対策

生徒支援

（基本方針）

- ① 生徒が充実した授業を享受できるよう、教育機器・施設を充実させる。
- ② クラブ活動で生徒が用いる機材や施設の再整備と充実を図る。
- ③ 学校行事（文化祭、体育祭）の内容を生徒の希望を踏まえつつ充実したものにしていく。

（アクションプラン）

1. 生徒支援の充実—生徒会・学校行事活動への支援と指導、校内支援団体との連携
2. キャリア教育の充実—中高一貫の6年間を見通した学年ごとの目標設定と実行

3. 生活指導の徹底—しっかりとした挨拶の励行など

社会貢献

(基本方針)

地域に愛される学校づくりを目指す。例えば、地域の環境美化に貢献する。

(アクションプラン)

1. 地域に愛されるボランティア活動を強化していく
2. 公開市民講座等を通じた地域と学校とのより綿密な連携を図る

キャンパス環境整備

(基本方針)

三高は、①教育効果を高めるための施設・設備の漸次更新 ②新コース制への再編に伴う自習室での PC 設置や無線ランの敷設 ③2020 年の大学入試改革に備えたタブレット端末機の利用向上のための環境整備。三中は、理科教育のさらなる充実に対応した施設の整備拡充を図る。

(アクションプラン)

1. 施設・機器の漸次更新
2. 新たな施設・設備の購入—自習室の PC と無線ランの設置、理科教育施設の整備

学校運営

(基本方針)

- ① 健全で発展的な学校づくりを目指して教員各自が与えられた校務分掌を確実に処理するとともに、新しいアイデアを提案していく。またそれぞれの校務の相互連携を取り合う。

- ② 災害など危機的な状況が生じた場合に備えて、日ごろから有事の際の情報管理並びに対応システムなどにつき万全な措置を講じる。

(アクションプラン)

1. 健全な財政管理
2. 適正な人事管理—教育力の向上
3. 保護者会・後援会・同窓会など支援団体との連携強化
4. 危機管理体制の整備—危機管理マニュアルの作成など